

第 2 次あきる野市行政改革推進プランにおける主な取組

① 不用財産の積極的処分について（取組 2 2 関係）

普通財産における遊休・未利用地の売却促進及び利活用を具体化することを目的に、平成 22 年 9 月に「あきる野市未利用地等利活用基本方針」を策定した。

歳入確保の観点から廃道敷地等の払下げ、市有地の売却を行った。

【取組による実績】

4,428,000 円

〔内訳〕 廃道敷地及びゴミ置場跡地の払下げ 4,304,000 円（133.79㎡）

市有地（原野）の売却 124,000 円（43.60㎡）

② 自動販売機の設置に係る競争入札の導入について（取組 2 3 関係）

平成 22 年 7 月に「自動販売機の設置に係る取扱基準」を制定し、行政財産の貸付方式により試行的に自動販売機を設置する場合の取扱いを定めた。

これにより、モデルケースとして庁舎の飲料用自動販売機について、設置希望者を公募し、競争入札により事業者を選定し、8 月から設置した。

【取組による実績】

1,750,000 円（平成 22 年 8 月から平成 23 年 3 月まで）

※目的外使用許可（3 台）だった場合の収入は、43,000 円なので、効果額は、

1,707,000 円

③ 補助金・負担金のあり方について（取組 2 5 関係）

補助金の内容見直しや新たな施策への転換が行われるなど、全庁的に補助金の有効活用に向けた取組の効果が表れ、補助金の縮減が図られた。

【取組による削減実績】

43,382,000 円

④ 通信コスト削減の検討について（取組 2 8 関係）

通話料金や契約内容について調査し、市内 60 施設 137 回線について、平成 23 年度から NTT 東日本が提供する一括割引サービス（ワリマックス・プラス）を導入することにした。

また、請求書の一括請求による基本料金の割引サービスの適用を受けることにした。

【取組による削減効果】

1,135,000 円（平成 21 年度実績に基づく試算額）

⑤ プール施設のあり方の検討について（取組 4 6 関係）

効率的・効果的な施設運営を図るため、いきいきセンター 2 階の健康増進フロアにある「水着リフレッシュゾーン」、「トレーニング室」、「サウナ室」、1 階の「男女小浴場」及び市民プールについて、運営経費の削減に取り組んだ。

・いきいきセンターの取組の内容

4月～9月（6か月間）：運営時間の2時間短縮（午前10時～午後7時）

10月、11月、3月：運営時間の3時間短縮（午前10時～午後6時）

12月～2月（3か月間）：運営休止

・市民プールの取組の内容

10月～3月（6か月間）：開館時間の1時間短縮（午前10時～午後8時）

【取組による削減実績】

8,149,000円

〔内訳〕いきいきセンター 6,430,000円

市民プール 1,719,000円

⑥ 定員管理の適正化について（取組57関係）

多様な雇用形態の推進（非常勤職員等の活用）について（取組59関係）

平成22年4月1日に新規職員を12人採用し、職員数を450人とした。前年度に比べ18人の職員を削減する中で、適正な人事配置を行った。

職員の定員適正化を進める中、人件費を削減するため、多様な人材の活用・雇用形態を推進することにより、行財政運営の効率化に努めた。

【取組による削減実績】

171,722,000円

〔内訳〕

（単位：千円）

	職 員		再任用		非常勤職員		非常勤嘱託員	
	人数	人件費	人数	人件費	人数	人件費	人数	人件費
H21	468	4,425,102	18	54,531	386	237,128	192	238,324
H22	450	4,202,819	26	82,147	385	237,392	206	261,005
	▲18	▲222,283	8	27,616	▲1	264	14	22,681

⑦ その他の取り組み（施設の運営コストの見直し）

電力の規制緩和により電力小売の自由化が進み、一般電気事業者（東京電力などの電力会社）以外の特定規模電気事業者でも電力の供給ができるようになり、対象施設である高圧電力（キュービクル設置施設）で契約している施設について、基本料金が一般電気事業者よりも安く、経費の削減が図れるため、31施設について入札により電力供給契約を行った。

【取組による削減効果】

13,731,000円（平成23年度当初予算における削減額）